

I. 平成27年度事業報告

公益財団法人化から4年が経過し、私たちの使命である3つのK（感動・感激・感謝）を体感していただく公益事業を積極的に行ってきましたが、会員の減少や参加者の減少傾向は継続し苦しい運営となりました。特に会員数は5000名となり、これに対応すべく組織のダウンサイジング第一弾を具体的にスタートいたしました。

1. 公益法人としての活動の充実・強化

- 1) 公益財団法人としての諸対応を実施いたしました。
- 2) ダウンサイジングにおける組織の活性化・強化については、理事選出方法の一部変更や理事会推薦理事に関する諸規程他の新設及び変更、さらには柔軟性を高める定款に関する議論を理事会にて行いました。
- 3) 会員数は今年度73名の減少で5000名となりました。具体的なダウンサイジング第一弾として役員及び評議員の削減を定款の許す範囲で実施いたしました。今後はさらなる柔軟性を含め定款の改定が必要と考えます。
- 4) 財政状況から継続検討してきました新事務所構想は長期保留とすることとしました。現在の事務所のさらなる有効活用を進める必要があります。

2. 財政の健全化

- 1) 参加者の確保や経費削減に努めた結果、黒字決算となりました。みなさまのご理解とご協力に感謝申し上げます。
- 2) 新しく寄付者の希望に沿った各寄付の設立と領収書の発行が可能な仕組みを新しく導入いたしました。

3. 組織・事業運営の改革

- 1) 参加者の安全を優先した事業運営、啓蒙活動を行いました。
- 2) オープン参加、県民スクールなど公益的活動を実施しました。
- 3) 一部参加者が増加している行事があるものの、全体としては減少となりました。公益性を維持しつつ事業の質を落とさない効率的な運営が求められます。
- 4) 新たに facebook、寄付 Website を導入、Website、ツール、広報の充実を行いました。

4. 指導員会、他団体との連携強化

- 1) 指導員会、南関東ブロック、他県連と連携し事業を行い成果がありました。

5. 人材育成への取り組み

- 1) 事業活動、セミナー、研修会などを通じて育成に努めました。
- 2) 各種大会にて神奈川選手の活躍が目立ち育成強化の成果が出始めています。